専門医症例報告

咀嚼および審美障害に対して補綴処置を行った 1 症例

小田切 憲

A Case of Prosthetic Rehabilitation for Disability of Chewing and Aesthetics Problem

Ken Odagiri

抄 録

症例の概要：患者は 60 歳，女性，咀嚼および審美障害を主訴に来院した。重度の慢性歯周炎患者に対し即時義歯を装着し，早期に咬合の支持，審美性を回復させ経過を観察しながら最終補綴処置に移行した。

考察：即時義歯を装着したことにより，歯の欠損による咀嚼障害や審美障害などの弊害が最小限となり，最終補綴処置に至るまでに十分な前処置が行えた。

結論：本症例では，即時義歯を使用して適正な下顎位および咬合高径を与えることによって機能的，審美的ともに患者の満足を得ることができた。また，重度の慢性歯周炎患者の補綴装置として，可撤式部分床義歯は有効な処置法であると考えられる。

和文キーワード

即時義歯，審美障害，咀嚼障害

ABSTRACT

Patient: This case report describes the use of immediate denture in a severe case of chronic periodontitis. A 60-year-old female patient presented with a chief complaint of disability of chewing and aesthetics problem. An immediate denture was served to achieve adequate occlusion. Due to applying of immediate denture in early stage, her occlusion and aesthetic problem were improved, and final prosthetics treatment performed.

Discussion: According to immediate denture, her chewing disability and aesthetic problem were improved, and time was allowed to perform pre-treatment before final prosthetic treatment.

Conclusion: The aim of this case report is to show achievement of a functionally and aesthetically satisfying result with applying immediate denture. In addition, it is thought that removable partial denture is an effective treatment as a prosthetic device of a severe case of chronic periodontitis.

Key words

immediate denture, aesthetic problem, chewing disability

I. 緒 言

下顎の偏位や咬合関係の不調和は、重度の慢性歯周炎による歯の動揺あるいは歯の欠損により惹起されることが多くその結果、咀嚼および審美障害をもたらす。今回、重度の慢性歯周炎患者に対し即時義歯を装着し、早期に咬合の支持、審美性を回復させ経過を観察しながら最終補綴処置へ移行し良好な結果が得られたので報告する。

II 症例の概要

1 症例

患者：60 歲，女性。

初診：平成14年5月13日。

主訴：上顎左側大臼歯部が痛む。

全身的既往歴：特記事項なし

現病歴：平成 14 年 4 月頃から上顎左側大白歯部が咀嚼時にうずくような痛みがあり来院した。

2 診査・検査所見

上顎は6 5 2|2 5 7欠損で、欠損部に対し④ ⑤ ⑥ブリッジ、6 5|部分床義歯が装着されていた。3|3は近心転位しており、特に3は唇側傾斜していた。下顎は7 6 5|5 7欠損、4|6にクラウンが装着されていた(図1)。X線写真および歯周組織検査の結果、上顎臼歯部と下顎前歯部に重度の歯槽骨吸収とその他の部位に中等度の歯槽骨吸収が認められた(図2、3)。咬合関係は左側臼歯部に交叉咬合、下顎左側偏位、過蓋咬合、咬合平面の不正が認められた。

3 治療方針

はじめに歯周初期治療を行い、保存不可能な歯は抜歯し、即時義歯を装着し咬合支持を回復させる。3の唇側傾斜について支台歯としては不適切であったため矯正治療および歯周外科処置を勧めたが患者の同意が得られなかったため便宜抜髄を行い、歯軸を改善する。残存歯については陶材焼付铸造冠で一次固定し支台歯の負担能力の補強を行い、歯の動揺と歯冠歯根比を改善する。その後、審美性と機能性を考慮してIバークラスプを応用した金属床義歯を製作することとした。

III 治療内容と経過

1 治療内容

まず、歯周基本治療後、保存不可能と判断した74

図1 Intraoral views at the first visit
初診時の口腔内写真

図2 Dental radiographs at the first visit
初診時のデンタルX線写真

		Date 2002_5_13																							
Mobility			2						2	1			1	2					1	2				2	
Probing Depth	B		6	6	6				7	6	3	3	2		2	2	1		3	3	4	5	7	8	8
	L		7	7	7				6	8	3	2	2		3	2	3	2	3	3	4	4	7	7	7
		8	7	6	5				4	3	2	1		1	2	3	4	5	6	7	7	8	7	8	
Probing Depth	L								5	3	5	3	2	3	3	3	7	8	8	8	7	2	1	2	
	B								7	5	5	3	3	3	3	3	8	8	6	7	8	8	2	3	3
Mobility									2	1	1	2	2	2	2	1	1							2	

図3 Examination of periodontal status at the first visit
初診時の歯周組織検査

4 6 4 1 | 1 2 6 を抜歯し、同日に即時義歯を装着し咬合支持を回復させた。即時義歯は 3 | 3 3 | 4 にワイヤークラスプを用いたレジン床義歯とし、人工歯は調整しやすいようにレジン歯を用いた。即時義歯装着後、3 カ月間の経過観察を行った（図 4, 5）。| 3 は唇側傾斜しており支台歯としては不適切であったため便宜抜随し、18k 金合金で支台築造して歯軸を改善した。最終補綴は 3 1 | 1 3 陶材焼付鑄造冠を連結固定し、舌側にガイドブレーンと結節レストを設計した。また、| 3 の歯頸部に歯肉退縮が認められたため歯肉色のピンクポーセレンを用いて審美性を改善した。下顎も同様に 3 2 | 3 4 を陶材焼付鑄造冠でそれぞれ連結固定し舌側にガ

図 4 Intraoral views after teeth extraction
抜歯後の口腔内写真

図 5 Panoramic radiography after teeth extraction
抜歯後のパノラマ X 線写真

図 6 Intraoral views after insertion of the final restoration
最終補綴装置装着時の口腔内写真

【満足度の評価】 一質問票一

(J Prosthet Dent 1999; 82: 416-427)

旧義歯と比較した新義歯の満足度に関する質問 1 1 項目に対して、7 段階評価で回答を求めたところ、全項目において満足度が最も高い“(7) 以前よりも極めて良い”回答が得られた。

<p>①以前の義歯と比べて現在の義歯でどのくらい良く食事ができますか？</p> <p>②以前の義歯と比べて現在の義歯で快適性を感じますか？</p> <p>③現在の義歯で固い食べ物を食べたとき、以前の義歯と比べてどのくらいよく食事が出来ますか？</p> <p>④現在の義歯は食べ物の種類によってどのくらい影響を受けますか？</p> <p>⑤自分の義歯でどれくらい楽しく食事をすることが出来ますか？</p> <p>⑥以前の義歯と比べて現在の義歯をきれいに清掃することがどのくらい難しいですか？</p> <p>⑦以前の義歯と比べて現在の義歯の清潔度にどのくらい満足していますか？</p> <p>⑧以前の義歯と比べて現在の義歯でどのくらいにおいを感じますか？</p> <p>⑨以前の義歯と比べて現在の義歯でいつもにおいを感じますか？</p> <p>⑩以前の義歯と比べて自分の義歯に対してどれくらい安心感を持っていますか？</p> <p>⑪以前の義歯と比べて現在の義歯はどのくらい発音に影響を及ぼしますか？</p>	<p>(1) 以前よりも極めて悪い</p> <p>(2) 以前よりもかなり悪い</p> <p>(3) 以前よりも僅かに悪い</p> <p>(4) 以前と同じ</p> <p>(5) 以前よりも僅かに良い</p> <p>(6) 以前よりもかなり良い</p> <p>(7) 以前よりも極めて良い</p>
--	--

低
 ↓ 満足度
 高

図 7 Questions and example of response choices for patient assessment of new dentures
新義歯の患者評価に関する質問および回答表